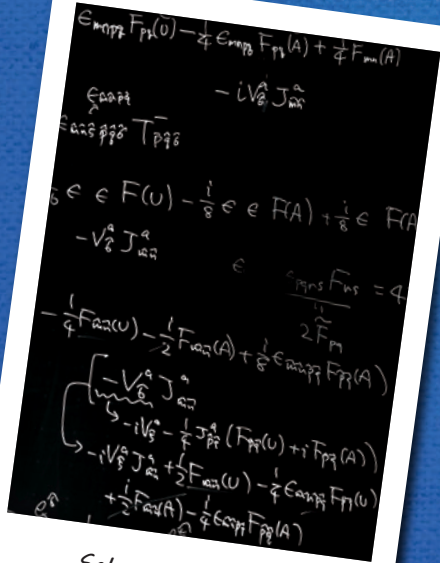


【平成28年度以降入学学生向け】
平成27年度以前入学の学生には
該当しない制度等が含まれています。

東京工業大学 学修の心得



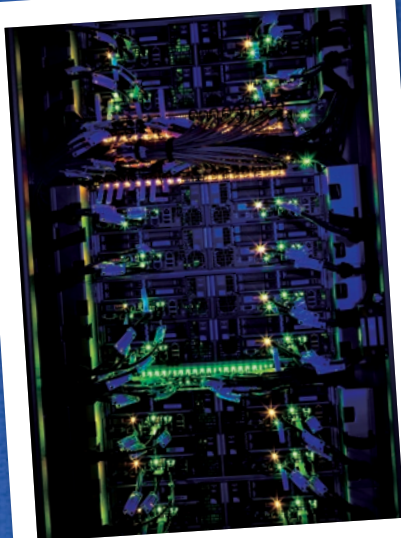
School of Science



School of Engineering



School of Materials and
Chemical Technology



School of Computing



School of Life Science and
Technology



School of Environment
and Society

科学・技術の力で
世界に貢献するために、
自ら進んで学ぼう

■ 東工大生の皆さんへ ■

東工大で充実した学びと楽しい大学生活を送り

その学修と経験や活動を通じて成長し

世界を舞台に活躍するような人物に育ってほしいという願いから

東工大ならではの「学びのしくみ」が作られています。

この冊子で、

「なぜ、東工大がこのような学びのしくみを用意したか」

がわかります。

「自分は大学でどのように成長したいのか」

ということを考えながら

大学生活を送ってほしいと願っています。

東工大は、全力でみなさんのやる気を育てます。

目 次

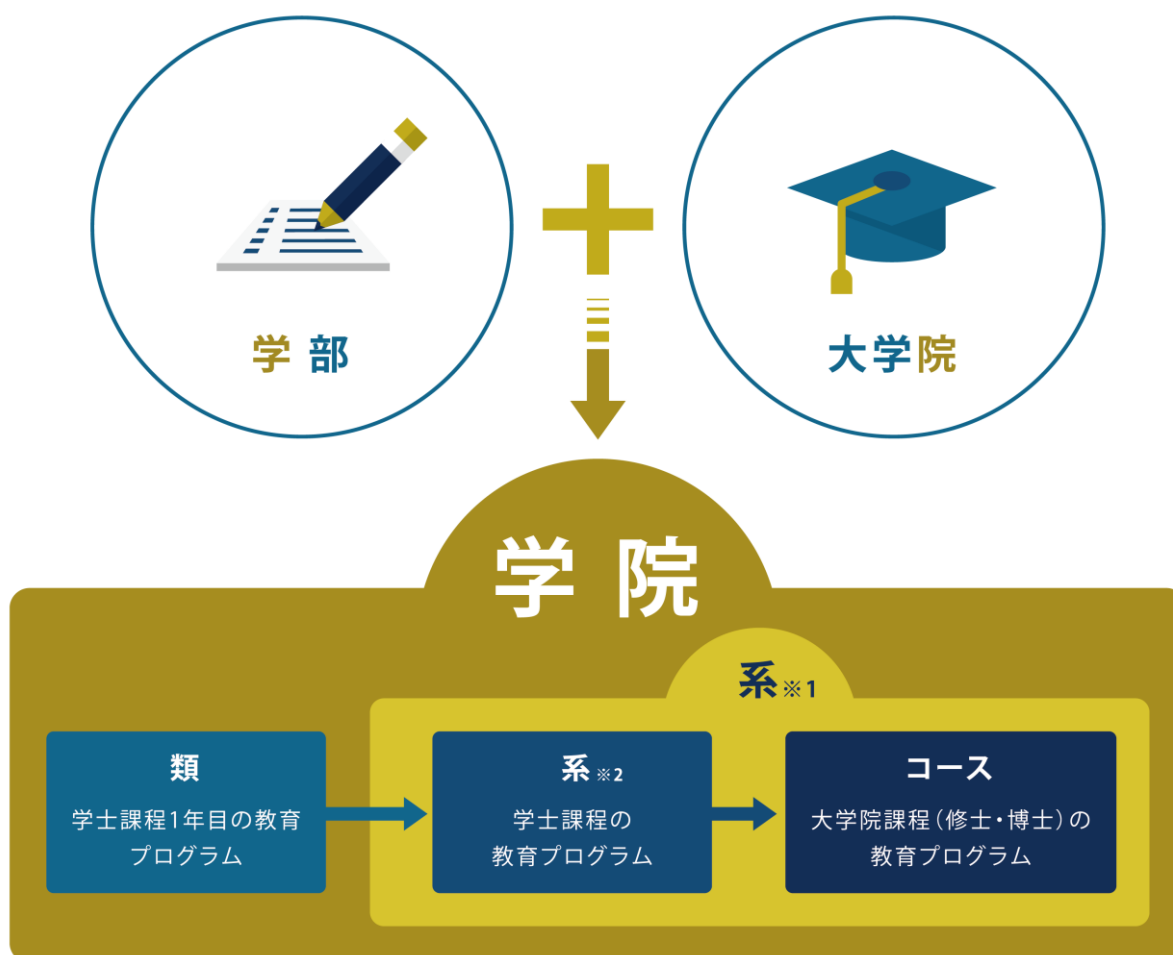
東京工業大学の教育目標	4
学院・系・コース	4
学び創るころ	5
多様な将来像	6
柔軟な学修期間	7
学修期間	7
標準的な学修	8
早期卒業・短縮修了を目指す学修	9
クォーター制	10
柔軟な専門分野の学修	11
学修する分野の柔軟性	11
一つの分野を深く学ぶ学修と複数の分野を学ぶ学修	11
広域学修（大学院課程）～副専門学修と特別専門学修～	12
複数の学問領域からなるコース（複合系コース：大学院課程）	13
一貫教育とくさび型教育	14
特色ある教育	15
教養教育とキャリア教育	15
研究力による教育	16
留学・国際経験	17
英語による授業	17
充実した学修制度	18
達成度評価	18
東工大生が身につける 5 つの力	19
科目コード（ナンバリング）	20
履修登録単位数制限（キャップ制）	20
シラバス	21
アクティブ・ラーニング	22
学修のための支援	23
支援のための体制	23
東工大学修ポートフォリオ	24
学院、系及びコース等の構成	25

東京工業大学の教育目標

しっかりとした学力、統合し実践する力、科学技術の未来を拓く創造力と挑戦力を身に付けた理工系人材を養成します。

学院・系・コース

学部と大学院が一体となって教育を行う「学院」を創設しました。学院では、皆さんが自らの興味・関心に基づいて、広い視野で俯瞰的にかつ体系的に学ぶことを重視する教育を行います。



※1 学生の所属する「系」 ※2 学士課程の教育プログラムのまとまりを示す【系】
(技術経営専門職学位課程は、環境・社会理工学院に配置。)

学び創るころ

皆さんが大学で成長するために、そして、社会や世界で活躍していくために、特に学士課程に入学した初年度の1年間は非常に重要になると考えています。東工大では、皆さんが「学び創るころ」を育むことを、初年度教育の目的としています。

そこで、東工大生として社会で活躍する際に理工系人材として身につけておくべき広範な理工系教養として、「数学」、「物理学」、「化学」、「生命科学」を、また、社会人としての教養やグローバルに活躍するための国際意識を醸成するために、「文系教養」、「英語」、「第二外国語」といった必修科目を学修します。さらに、体感型授業「科学・技術の最前線」といった科目も用意しています。

また、学士課程で育まれる「学び創るころ」は、大学院課程で研究する力を十分発揮するために重要な要素です。



学ぶ

東工大生として必要な理工系教養科目や文系教養科目を学ぶことで、「理工系人材としての共通言語となる知識」を身に付けます。



創る

東工大で学ぶ知識と挑戦する心を備え、社会への貢献を具現化するための「創造する経験」を重視します。



ころ

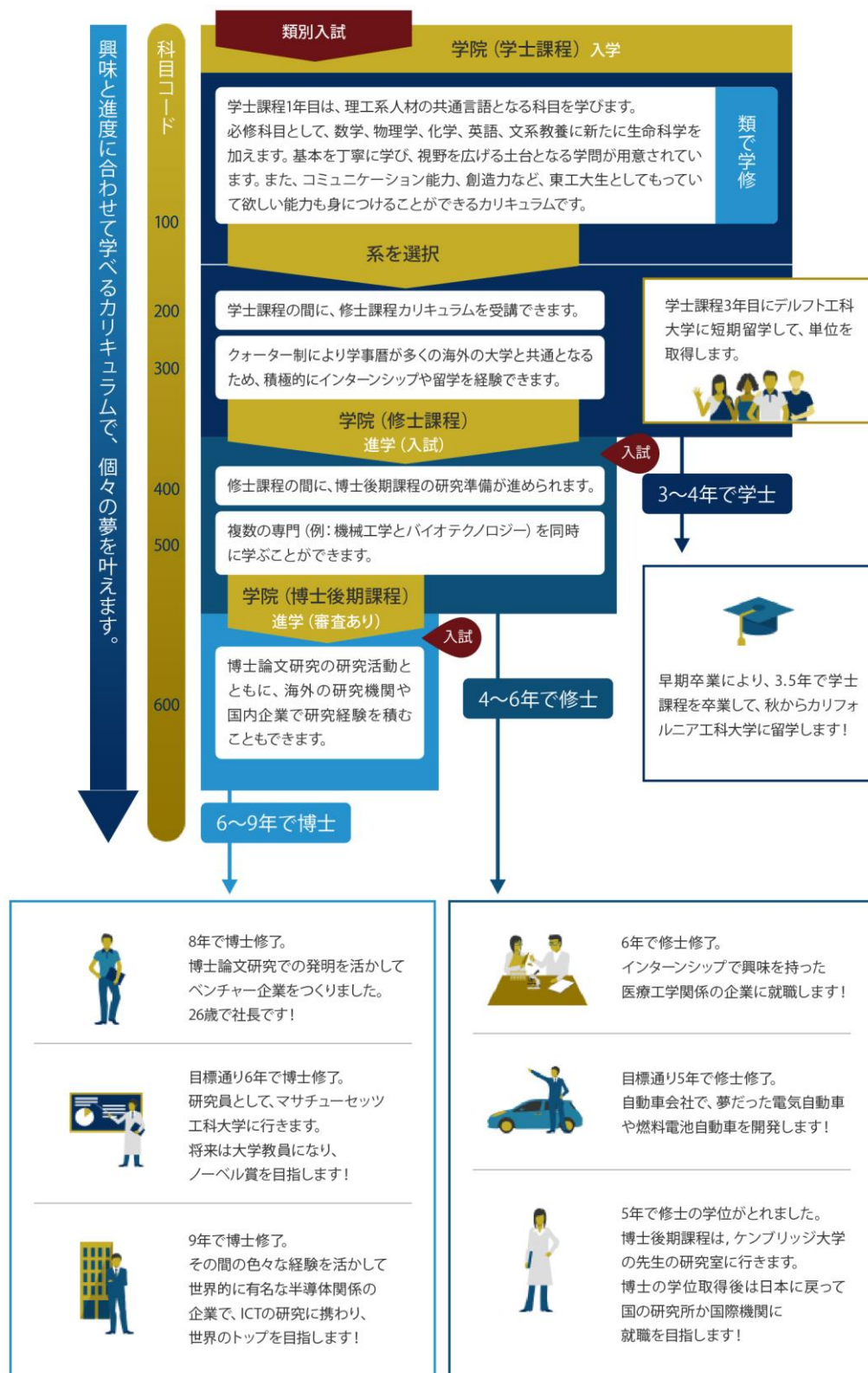
自分の夢やグローバルな課題に向かって挑戦する心を大切にします。大学は、自分の心を成長させる場所です。



多様な将来像

自分の希望を、自分が選択して、自分のペースで叶えることができます。

図に示す例のように、多様な選択ができます。



柔軟な学修期間

■学修期間

将来の夢の実現に向けて、大学で学修にどのくらい時間を費やすのか、どのような経験を積むのか、**自分で学修計画を立てます**。その計画に合わせて**学修期間を柔軟に設定**できるので、早く社会に出たいと考えるならば短い期間で卒業・修了する学修計画を立てることもできます。もちろん、標準の期間で**じっくり学修**することもできますし、留学やインターンシップなど**多様な活動を組み込んだ学修計画**を立てることもできます。

なお、早期卒業・短縮修了をすれば、**学士課程から博士後期課程まで最短6年で修了**できます。

	標準的な学修期間	早期卒業・短縮修了
学士課程	4年	3年～4年未満
修士課程、専門職学位課程	2年	1年～2年未満（※）
博士後期課程	3年	1年～3年未満（※）

※修士課程と博士後期課程で、計3年以上の在学期間が必要です。

標準的な学修期間

年	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
課程	学士課程				修士課程		博士後期課程		
		学士課程4年			修士課程2年		博士後期課程3年		

早期卒業・短縮修了

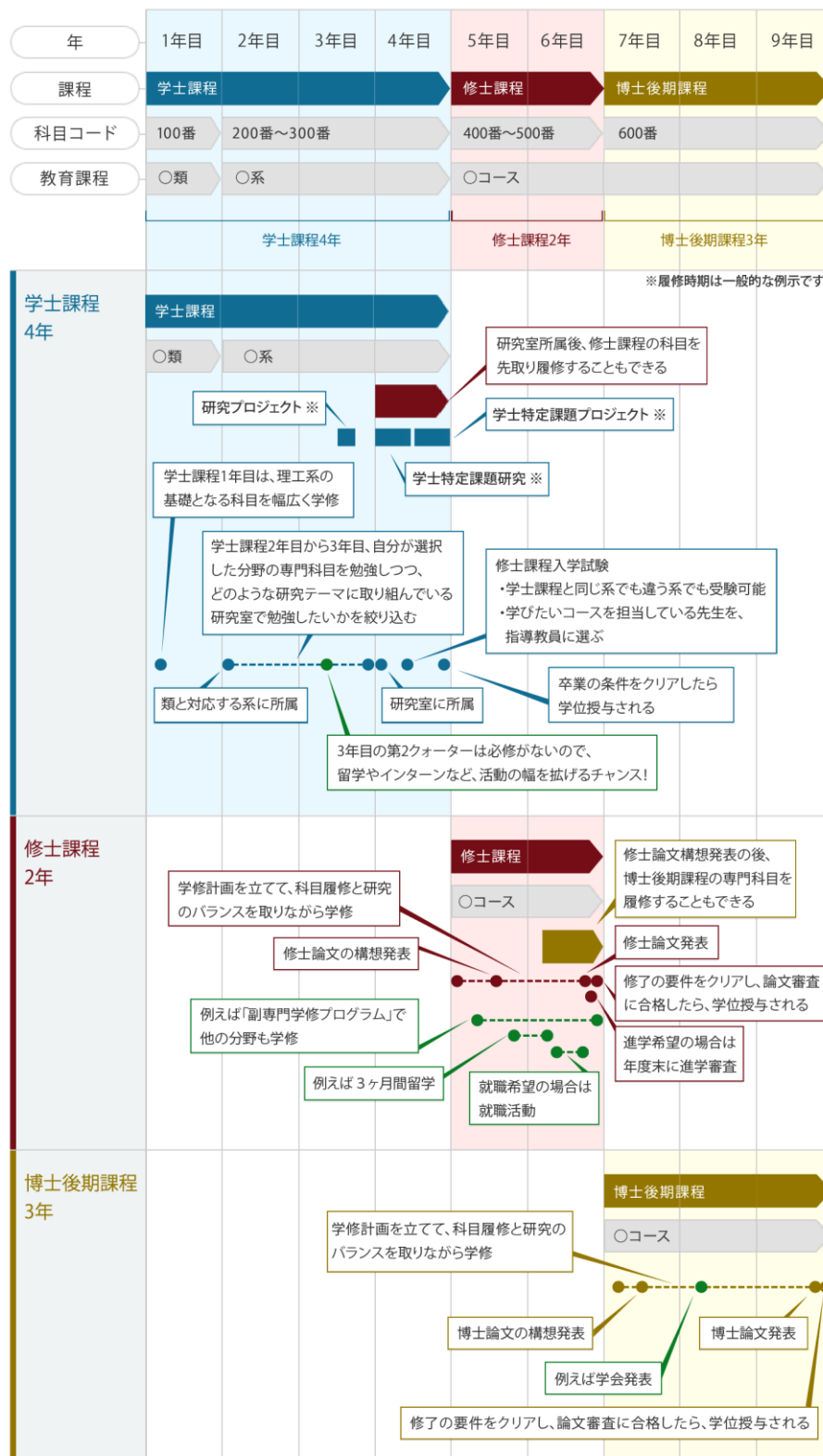
例えば、学士課程から博士後期課程までを、7年間で修了する例です。

年	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
課程	学士課程				修士課程	博士後期課程	
		学士課程3.5年 (通常4年・最短3年)			修士課程1.5年 (通常2年・最短1年※)	博士後期課程2年 (通常3年・最短1年※)	

※修士課程と博士後期課程で、計3年以上の在学期間が必要です。

標準的な学修

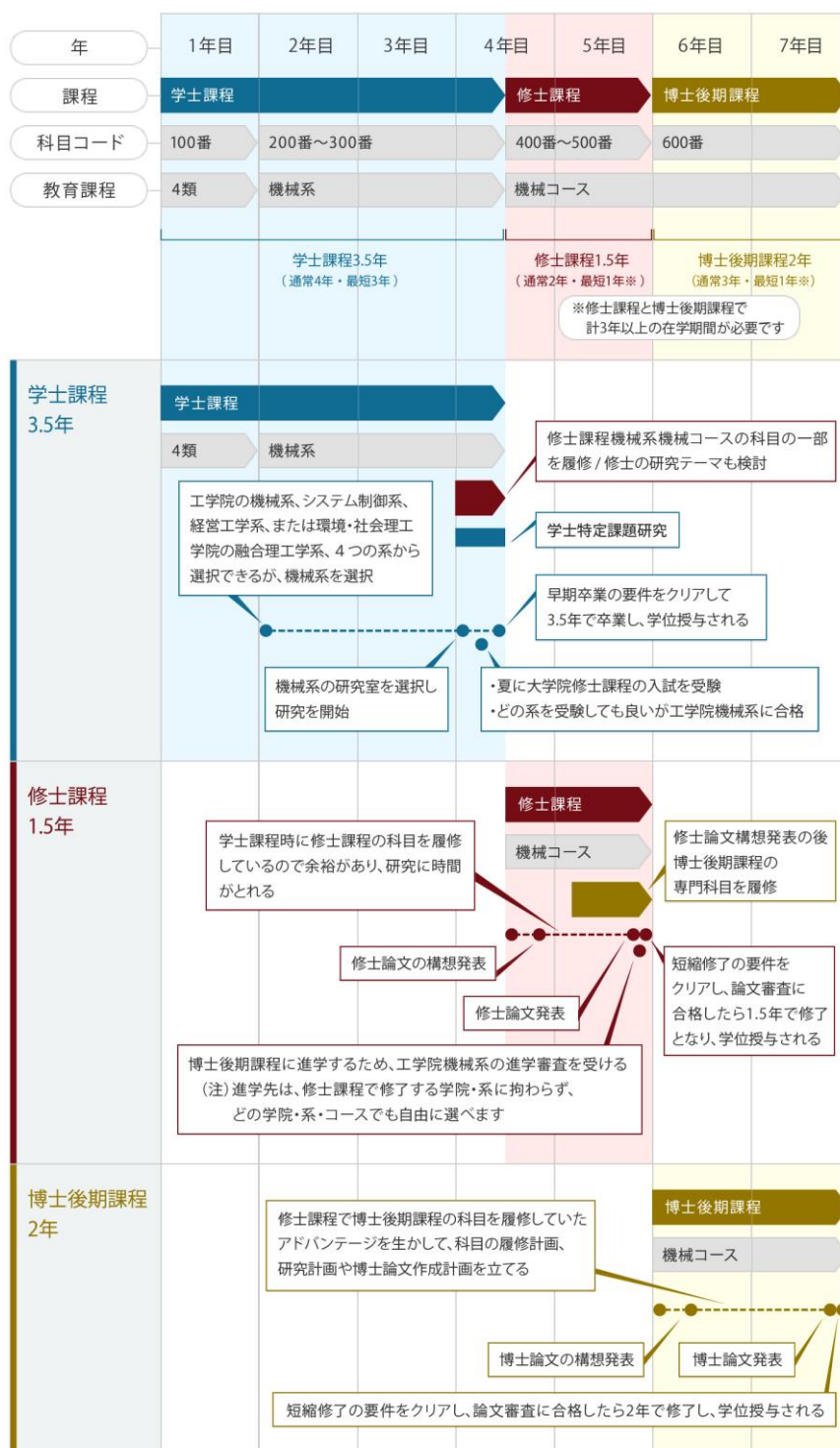
学士課程 4 年間、修士課程 2 年間、博士後期課程 3 年間が標準的な学修期間です。



■早期卒業・短縮修了を目指す学修

意欲が高く達成度の要件をクリアすれば、**早期に次のステップに進みやすいカリキュラム**です。
標準より**早く夢や目標に近づけます（学士課程入学後最短6年で博士の学位が取得できます）**。

例：4類・機械系・機械コースで学士課程から博士後期課程まで7年間で修了



■クォーター制

学修期間の柔軟性と学修効果を高めるため、クォーター制を用いています。クォーター制とは、1年間を4つの期に分けて学修することです。1つのクォーター期間は2ヶ月あまりです。

多様な活動

柔軟な学修計画が立てやすい仕組みです。

例えば、あるクォーターに留学やインターンシップなど学外活動を取り入れて履修科目が少なくなる場合（または、履修しない場合）、次のクォーターで履修科目を増やしてバランスをとることができます。東工大は多様な活動を推奨しているので、夏休みと併せてインターンシップや留学などの活動がしやすいように、学士課程3年目の第2クォーターは必修科目を設定していません。

学修効果

クォーターの約2ヶ月で集中的に学べるように、例えば2単位の科目であれば週2回授業を行います。授業の間隔が短く、学んだことを忘れないうちに次の授業を受けられるため、学修内容の定着に効果があると期待されています。時間をかけてじっくり学修した方が良い科目は、例えば2単位分の内容の科目でも1つのクォーターで週1回の1単位科目として開講し、2クォーターにわたって学修して学修内容の定着を確認します。

また、第1クォーターで基礎的な科目を修得できれば、第2クォーターで学修する他の科目の理解促進に役立ったり、さらに応用的な科目を履修できたりするので、クォーター制は段階的な学修に適した仕組みであり、早期に上位科目に進みやすい仕組みです。

第1クォーター	第2クォーター	夏休み	第3クォーター	第4クォーター	春休み
4月上旬～ 6月上旬	6月上旬～ 8月上旬	8月中旬～ 9月中旬	9月下旬～ 11月下旬	11月下旬～ 2月上旬 (冬休みを含む)	2月中旬～ 3月下旬

学士課程3年目の第2クォーターは「必修科目」がないため、第2クォーターと夏休みを利用して、留学しやすくなります。

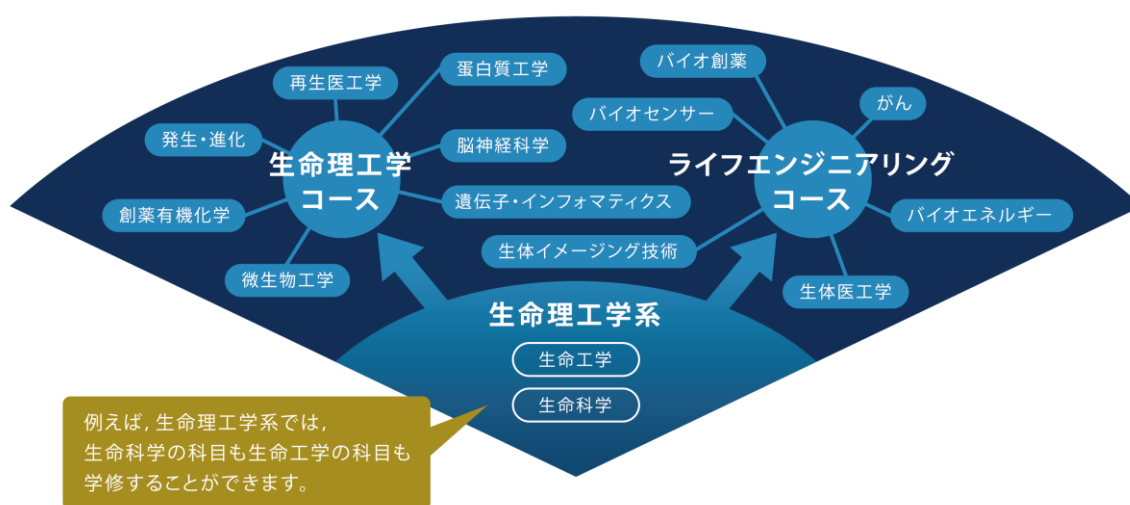
柔軟な専門分野学修

■学修する分野選択の柔軟性

東工大の「系」（学士課程教育プログラム）や「コース」（大学院課程教育プログラム）は、学修できる分野の範囲が広いため、入学時に専門を絞り込む必要がありません。その系やコースの中で、自分の学びのニーズにあわせた柔軟な科目選択によって、学修する分野の範囲を設定できます。

また、興味のある分野が変わった場合でも学修への意欲を持てるように、自分の興味・関心に沿った学修ができる仕組みもあります。

（例）生命理工学院



■一つの分野を深く学ぶ学修と複数の分野を学ぶ学修

主に二つの学修方法を提供します。どちらも東工大らしい教育が受けられます。

専門学修

ある特定分野の科学・技術に興味があり、とことん好きな分野を深く学修したいという場合の学修方法です。

広域学修

複数の分野にわたる科学・技術への興味があり、自分の専門を学修しながら、その専門以外の分野も体系的に学修したい場合の学修方法です。広がりのある系・コースが提供している科目を履修するほか、副専門学修プログラム（学士課程で開始することも可能。修士課程で修了。）などを利用することができます。

■ 広域学修（大学院課程） ～副専門学修と特別専門学修～

自分が選択する系・コース以外の分野も体系的に学修できるように、副専門学修プログラムと特別専門学修プログラムを提供します。自分の専門をしっかりと学修した上でさらに他の分野を学修することで、社会に必要な多様性や柔軟性を獲得できます。

プログラムを修了した場合、修士修了時に大学から学位と同時に修了証が授与されますので、学修して身についたことを公に示すことができます。

副専門学修プログラム

学位を取ろうとしている分野とは別に、興味・関心がある特定の分野に関するエッセンスを、基礎から体系的に学修できるプログラムです。

すべてのコース（修士課程）が、副専門学修の科目を用意しています。東工大生は、学士課程在学中から開始できる副専門学修プログラムもあります。

（例）機械系機械コースの学位を取る予定だが、材料の知識・特性も多少は身につけておきたいという場合は、例えば「材料コースの副専門学修プログラム」を学修します。



特別専門学修プログラム

複数のコースが横断的に融合して、特別なプログラムを構成しています。

（例）数学コースを専門にして金融機関への就職も視野に入れているため、経営の観点でも学びたいという場合は、例えば「数理ファイナンス特別専門学修プログラム」を学修します。



「数学の科目（主専門と同一）」と数学コースが「数理ファイナンスのために開講する科目」を履修します。

■ 複数の学問領域からなるコース（複合系コース：大学院課程）

21 世紀において、地球規模で課題となっているテーマは数多くあり、そのほとんどが、理工系大学の研究テーマです。世界をリードして解決の道標をつけることが、東工大の役割です。

そこで、東工大の大学院課程には、異なる学問領域を融合し、新たな学問領域を確立した上で教育にあたる先駆的なコースとして、「複合系コース」（大学院課程教育プログラム）があります。

複数の系から進学しやすい仕組みになっています。いろいろな分野から人が集まって切磋琢磨できるのも、複合系コースの魅力のひとつです。

複合系コース

- 複数の学院にある複合系コース

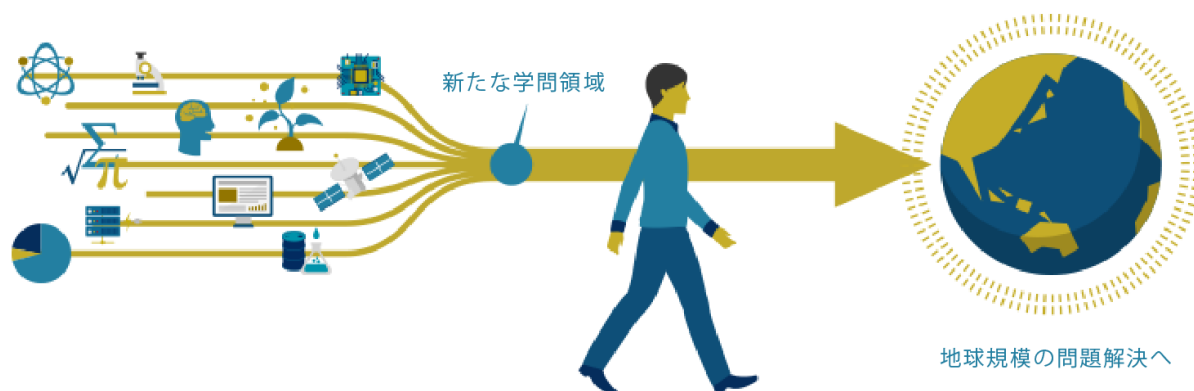
エネルギーコース、エンジニアリングデザインコース、ライフエンジニアリングコース、
原子核工学コース

- 情報理工学院にある複合系コース

知能情報コース

- 環境・社会理工学院にある複合系コース

都市・環境学コース



一貫教育とくさび型教育

学修一貫・修博一貫

「一貫教育」とは、学士課程と修士課程、修士課程と博士後期課程の教育カリキュラムが、継ぎ目なく学修しやすいように設計された教育体系を表しています（注参照）。多くの東工大生が大学院へ進学する現状に即して、上位課程との学修のつながりや学修内容を分かりやすく示します。

学士課程入学時に、学士課程で学修できる内容はもちろん、大学院での学修内容や大学院修了後の出口を見通せるので、自らの興味・関心に基づく多様な学修が選択できます。

（注）それぞれの課程を卒業・修了すると学位が授与されます。学士課程から修士課程に進むには入学試験に、修士課程から博士後期課程に進むには進学の審査に合格する必要があります。卒業・修了した課程と違う分野に進むこともできます。

くさび型教育

東工大は、理工系だけにとどまらない広い視野を持つために「くさび型教育」を行っています。

「くさび型教育」とは、学士課程から博士後期課程まで、教養教育と専門教育を有機的に関連させ、知識や能力をスパイラルアップさせる、東工大独自の教育です。

この教育により、最先端の理工系専門知識を修得し、教養教育により理工系学問の社会的意義について理解を深め、人間形成と幅広い価値観を養います。



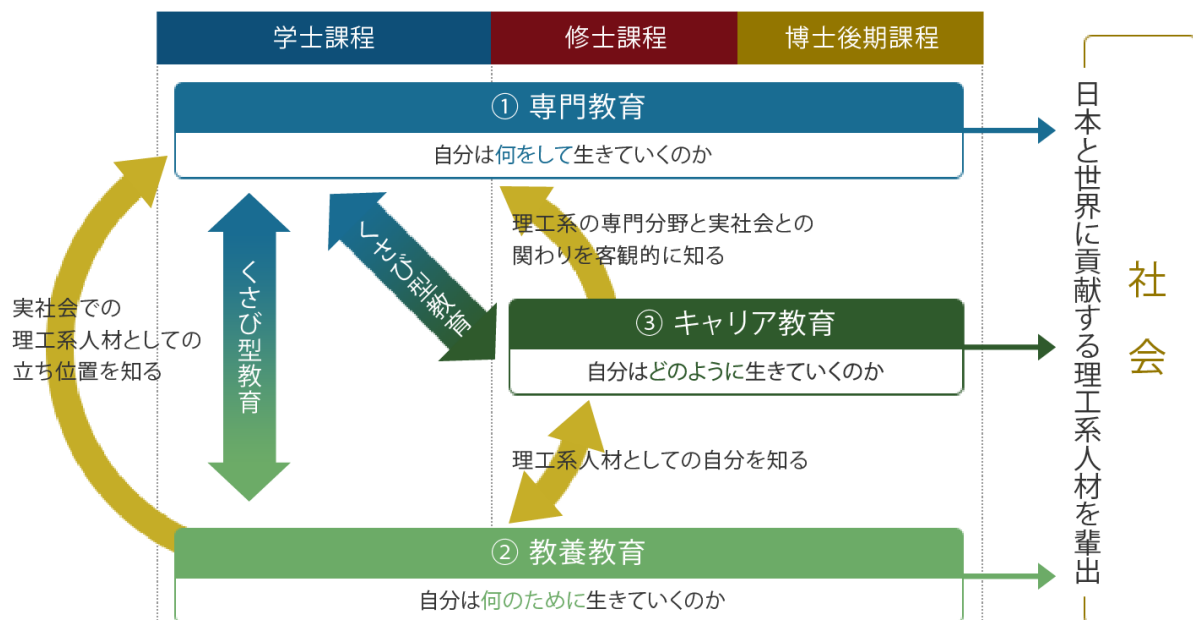
特色ある教育

■教養教育とキャリア教育

卓越した理工系の専門能力を身につけ、それを社会へつなげていくためには、

- ①「自分は何をして生きていくのか」という問いに答える専門能力に加えて、
 - ②「何のために生きていくのか」を考える幅広い教養と、
 - ③「どのように生きていくのか」を考えるキャリア能力
- が必要です。

専門教育、教養教育、及びキャリア教育による相乗効果により、社会に貢献する力が確実に身につきます。



■ 研究力による教育

東工大の研究は、日本国内にとどまらず、世界で高く評価されています。そのような研究を行っている教員から直接教育を受けられます。

研究室での学修は、学修の総合力が、最も鍛えられる機会です。

学士課程

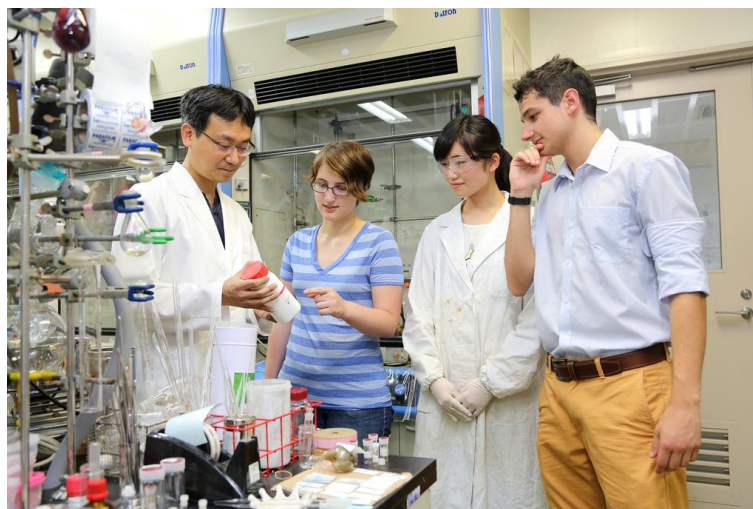
学士課程では、できるだけ早い段階で研究の醍醐味を味わえるような科目を用意しています。

- 「研究プロジェクト」
複数の研究室で研究体験を行う科目。異なるキャンパス、もしくは異なる分野から研究室を選択。
- 「学士特定課題研究」
2クォーターにわたって研究室で特定の課題を研究し、いわゆる卒業論文を作成する科目。
- 「学士特定課題プロジェクト」
「学士特定課題研究」の課題をさらに掘り下げたり、あるいは別の課題に取り組んだり、修士課程での研究課題の準備をしたりする科目。

大学院課程

本格的な研究が始まる大学院課程では、「講究」を履修します。「講究」は、分野や研究室で様々な手法がありますが、教員の指導のもとに、自分の研究の知見を養うために、論文を読んだり、ディスカッションをしたりします。

研究室では、教員だけでなく、先輩学生や研究員などから研究への示唆が得られたり、議論から新しい視点が得られたり、自分の研究が深まっていくことが醍醐味です。



■ 留学・国際経験

東工大では修士課程修了までに、留学すること、または国際経験を積むことになっています。なぜなら、国際性は「日本のリーダー、世界のリーダー」に欠かせない要素だからです。東工大は皆さんが国際性を身につける機会を提供します。

大学の外からも知知的な刺激を受けることは、国際的な価値観において、自分を高め、興味・関心の対象を広げたり深めたりする良い機会となります。



■ 英語による授業

基礎的な学修を行う学士課程は、日本語でしっかり学修し、日本語で考える力を身につけます。

一方で、皆さんが「科学・技術の力で世界に貢献する人材」や「グローバル社会で活躍できる人材」になるためには英語能力が必須です。応用的な学修を行う大学院課程の専門科目は、英語で授業が行われます。

また、大学院課程での学修に備え、学士課程の授業でも専門分野の英語に少しずつ触れながら学修を進めます。

英語は、自分の世界を広げるツールであり、東工大で学修したことや自らの考え・理論・研究成果等を世界に向けて発信することができます。

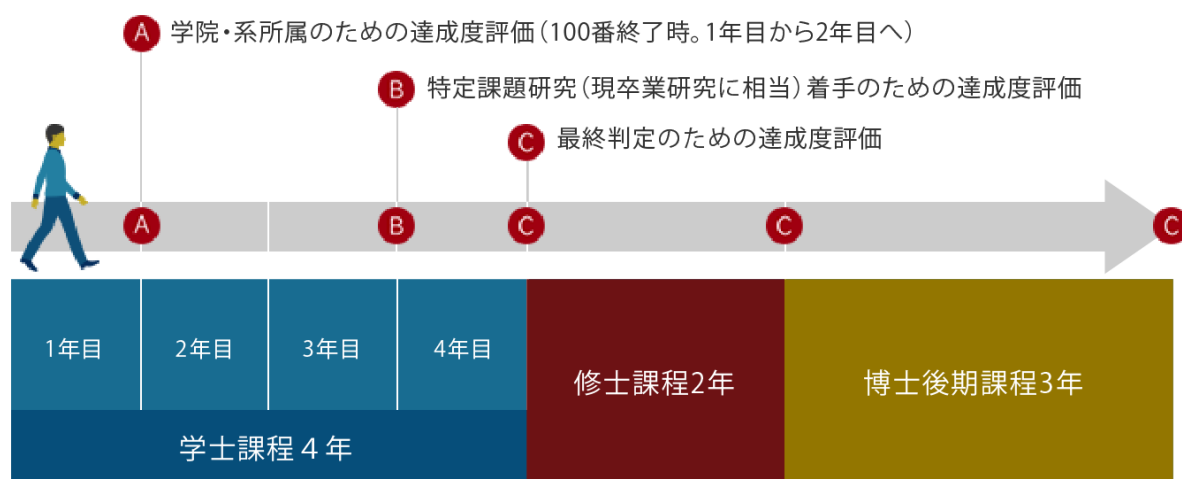
充実した学修制度

■達成度評価

「何をどれだけ学んだか」を評価し、達成度によってステップアップしていきます。学修内容は、学年ではなく学修の進捗度で決まります。

どのように学び、どのくらい達成しているかを、自らチェックしながら学修していくことで、自己を見つめ直すことにもつながり、今後の目標や修得知識を明確にすることができます。達成度に応じて学修を進められるので、自分のペースで学修できます。

標準的なモデル



■東工大生が身につける5つの力

社会では様々な人との関わりがあります。また、社会の変化は激しいので、専門分野の知識や技術だけでなく、例えば、主体的に行動できる力や、どんな環境においても物事に対応できる力が必要とされます。

そこで東工大では、講義、演習、実験・実習にアクティブ・ラーニングの手法を多く取り入れるなど、科目の履修を通じて、「5つの力」を身につけられるようにしています。各科目のシラバスにも、必ず記載されています。東工大を卒業・修了したら、「5つの力」が身につきます。

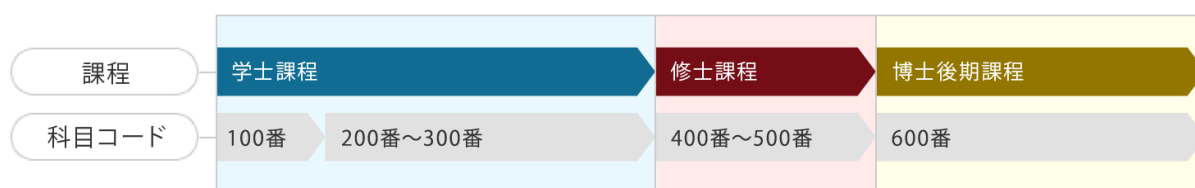
科目を履修する際には、この「5つの力」を意識しましょう。教員も「何ができるようになるか」、
「どのような力を身につけるか」に焦点を当てて、授業をします。

東工大生が身につける5つの力		
国際的教養力	自立した一人の人間としての意識や知識、 また外国人を含む他者と意思疎通を図るために 必要な知識や語学力	社会で必要 とされる 項目
コミュニケーション力	自らの知見・経験などを踏まえて、 他者との意思疎通や合意形成するために必要な力	
専門力	関心を向けた専門分野の研究・技術開発に 必要な知見・学力	専門（研究） に関する 項目
課題設定力	あるべき姿と現実とのギャップや 「なぜ、そのようになるのか」という疑問等に対して、 これを解決するために必要な道筋を立てられる力	物事に取り 組む際に 必要な項目
実践力又は解決力	自らの知見、経験、考えなどの「理論や理念」を もとに、①課題や目標に向かって行動に移す力、 ②答えのない問題や実社会における問題などの解決に 取り組む力、③新たな知見を創造・発信する力	

■科目コード（ナンバリング）

すべての科目に、学修のレベルを表す科目コードがついており、その仕組みを「ナンバリング」と言います。科目コードは授業科目を選択するガイドとなります。いま学修すべき科目、その次に学修することになる科目、さらには進学後に学修する科目、というように履修順序がわかります。

達成度に応じた履修順序がわかるため、先を見通して自分で具体的な学修計画を立てることができます。年数や周りの学生の学修計画に合わせるのではなく、一つ一つの科目を確認し、自分の達成度に合わせて立てた学修計画で、しっかりと力を身につける履修ができます。



■履修登録単位数制限（キャップ制）

1単位は、授業時間外も含め 45 時間分の学修をもって付与されます（大学設置基準）。つまり、授業に出席して学修する時間のほか、授業の前後に学修することが求められます。授業の前に自主的に予習して、授業では予習してきた内容をもとにディスカッションしたり、授業の後に課題に取り組むなど、授業時間外学修を前提とした授業が展開されます。

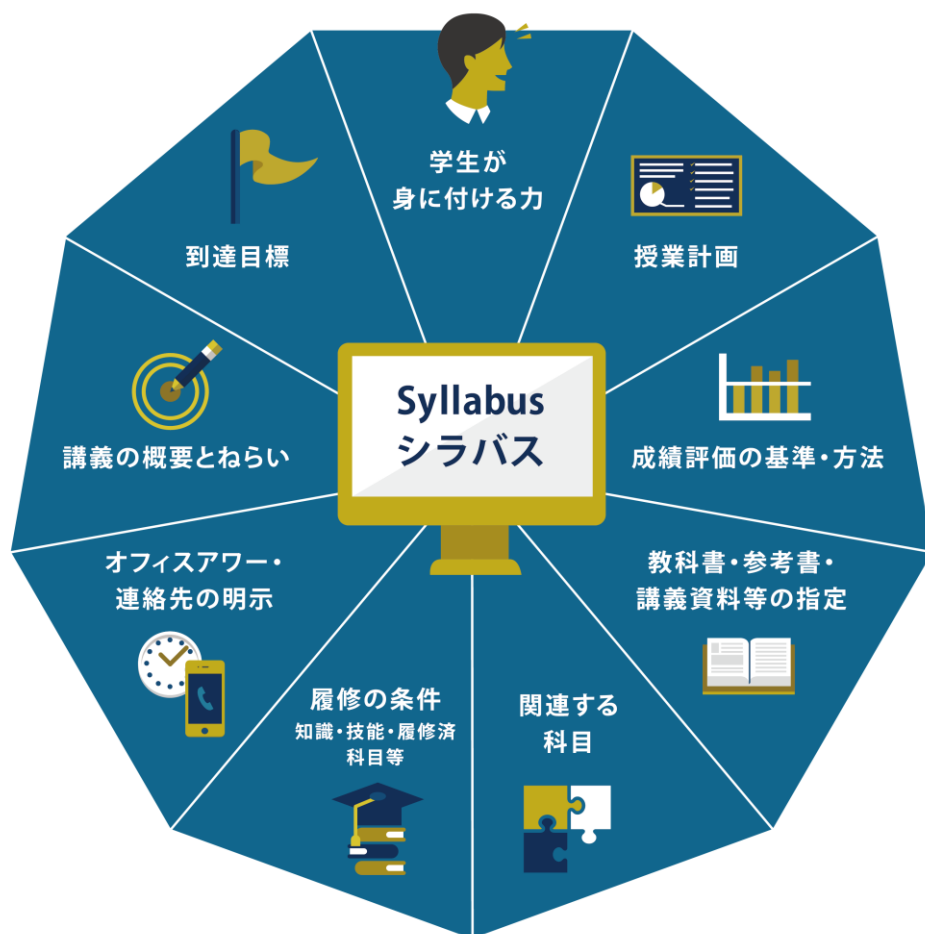
そこで、授業時間外に学修する時間を確保して、授業の内容をしっかりと身につけるために、履修登録できる単位数を制限します。学士課程では、年間 48 単位まで履修申告できます。前年度に優秀な成績を修めた場合は、8 単位追加し、年間 56 単位まで履修申告できます。大学院課程（専門職学位課程を除く）では、年間を通じて学修する科目は少ないので、設定されていません。

大学生活では様々な活動を行うと思いますが、できる限り各クォーターで履修申告単位数のバランスを取りながら、学修内容が身につくように自分のペースで学修しましょう。

■シラバス

シラバスを見ると、その科目では、何を学べるのか、どのような力が身につくのか、何ができるようになるのか、がわかります。履修を決める手がかりにしましょう。

すべての科目が、日本語と英語のシラバスを公開しています。留学する際に、英語のシラバスが役に立ちます。



アクティブ・ラーニング

講義を中心とした知識伝達型の学修だけでなく、グループワークやディスカッション、プレゼンテーション等を取り入れた**アクティブ・ラーニングの授業を展開**します。そのような授業で求められるのは、**自ら考えるという学修**です。



アクティブ・ラーニングの手助けの一つとなるのが、**オンライン学修**です。**事前にオンラインで提示された課題に取り組み、予習してから授業に参加**して、授業では、わからないことを質問したり、ディスカッションしたりして理解を深めます。東工大は世界的なオンライン教育のコンソーシアム「edX」に参加して、MOOC (Massive Open Online Course) や、SPOC (Small Private Online Course : 学内限定オンライン講座) を活用した主体的な学びと自学自習の機会を提供します。

こうした取り組みに伴い、アクティブ・ラーニングがしやすい教室を増やしています。その代表が**東工大レクチャーシアター**です。東工大の最先端研究者やノーベル賞級の発見・発明者、創造的製品やサービスの開発者などの声を直接聴き、創造的討論や実験の実演を伴った**五感を刺激する授業を実施**するための特別な教室です。



東工大レクチャーシアターで行われたクリスマス・レクチャーの様子

学修のための支援

■ 支援のための体制

東工大は、大学生生活の支援体制も充実しています。大学生活や学修の質を高めるため、また、自分の最大限の力を発揮できるように、学修の疑問や相談内容などに併せて、たくさんある窓口から適切な相談先を選んで活用しましょう。

学修コンシェルジュ

東工大の学修について、アドバイスしたり、本学の教育体系・システムの目的を説明したりします。希望に応じて、適切な支援窓口も紹介します。

学修相談室・TA・チューター

博士後期課程学生が修士課程学生を、修士課程学生が学士課程学生を教える、あるいは、同分野・異分野の学生同士が教え合う環境です。

学生相談室・保健管理センター

学生相談室は、どんなことでも気軽に相談できる場所です。
保健管理センターでは、心身の健康管理をサポートします。

アカデミック・アドバイザー

教員が、アカデミック・アドバイザーとして、学生一人一人を担当します。学生の成績や履修状況等を考慮しながら、相談や指導を行い、将来の夢や今後の学修計画の実現をきめ細かくサポートします。

キャリアアドバイザー

キャリアアドバイザーが、理工系である東工大生に合わせたキャリア形成の支援をします。

教育革新センター

Teaching Assistant (TA) や、チューターとなるための学修支援をします。



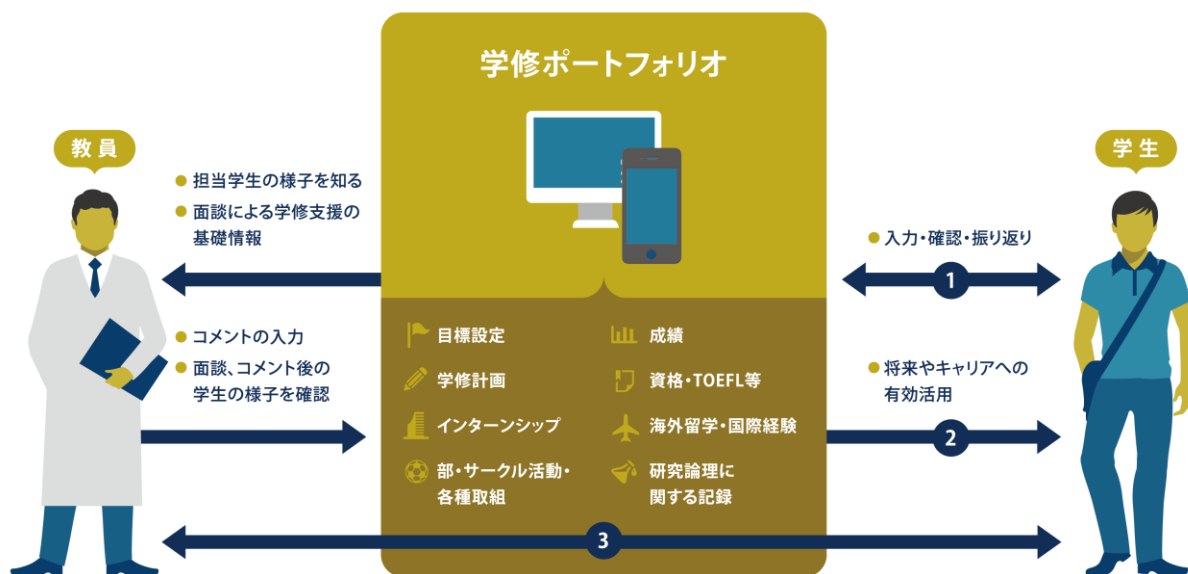
■東工大学修ポートフォリオ

東工大学修ポートフォリオとは、東工大生用に設計したオリジナルの学修履歴を記載するツールです。学修過程や、各種の学修成果を長期にわたって収集し、記録する機能があります。

ポートフォリオは、

- ①自分がどのような学修をしたか等を記録することで、自己省察や次のステップや目標を決める際に役立ちます。
- ②大学生活や自身の将来やキャリアに有効に活用ができます。主に大学での経験を見える化して、将来の糧にすることができます。
- ③アカデミック・アドバイザーが担当学生の学修の支援をするためにポートフォリオを閲覧し、皆さんは、アカデミック・アドバイザーからアドバイスを受けることができます。

自分を客観的に把握できるポートフォリオを使って、自主的な学修に役立てましょう。



学院、系及びコース等の構成



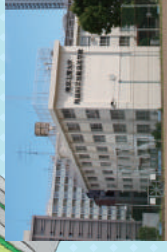
学士課程 (1年目)		学士課程 (2~4年目)		大学院課程 (修士・博士後期課程)	
理学院	● 数学系	第1類	数学系	数学コース	
	● 物理学系	第1類	物理学系	物理学コース	
	● 化学系	第1類	化学系	化学コース	エネルギーコース
	● 地球惑星科学系	第1類	地球惑星科学系	地球惑星科学コース	
工学院	● 機械系	第4類	機械系	機械コース	エネルギーコース
	● システム制御系	第5類	システム制御系	システム制御コース	エンジニアリングデザインコース
	● 電気電子系	第5類	電気電子系	電気電子コース	エンジニアリングデザインコース
	● 情報通信系	第5類	情報通信系	情報通信コース	エンジニアリングデザインコース
	● 経営工学系	第3類	経営工学系	経営工学コース	エンジニアリングデザインコース
	● 材料系	第2類	材料系	材料コース	エンジニアリングデザインコース
物質理工学院	● 応用化学系	第3類	応用化学系	応用化学コース	エネルギーコース
	● 数理・計算科学系	第1類	数理・計算科学系	数理・計算科学コース	
情報理工学院	● 情報工学系	第5類	情報工学系	情報工学コース	知能情報コース
	● 生命理工学系	第7類	生命理工学系	生命理工学コース	知能情報コース
環境・社会理工学院	● 建築学系	第6類	建築学系	建築学コース	エンジニアリングデザインコース
	● 土木・環境工学系	第6類	土木・環境工学系	土木工学コース	エンジニアリングデザインコース
	● 融合理工学系	第4類	融合理工学系	地球環境共創コース	エンジニアリングデザインコース
	● 社会・人間科学系			社会・人間科学コース	エネルギーコース
	● イノベーション科学系			イノベーション科学コース(博士課程)	
リベラルアーツ研究教育院	● 技術経営専門職学位課程			技術経営専門職学位課程	
		教養系科目 (全課程を通して継続的に履修)			

※コースとは、学院の系で実施される大学院課程の教育です。

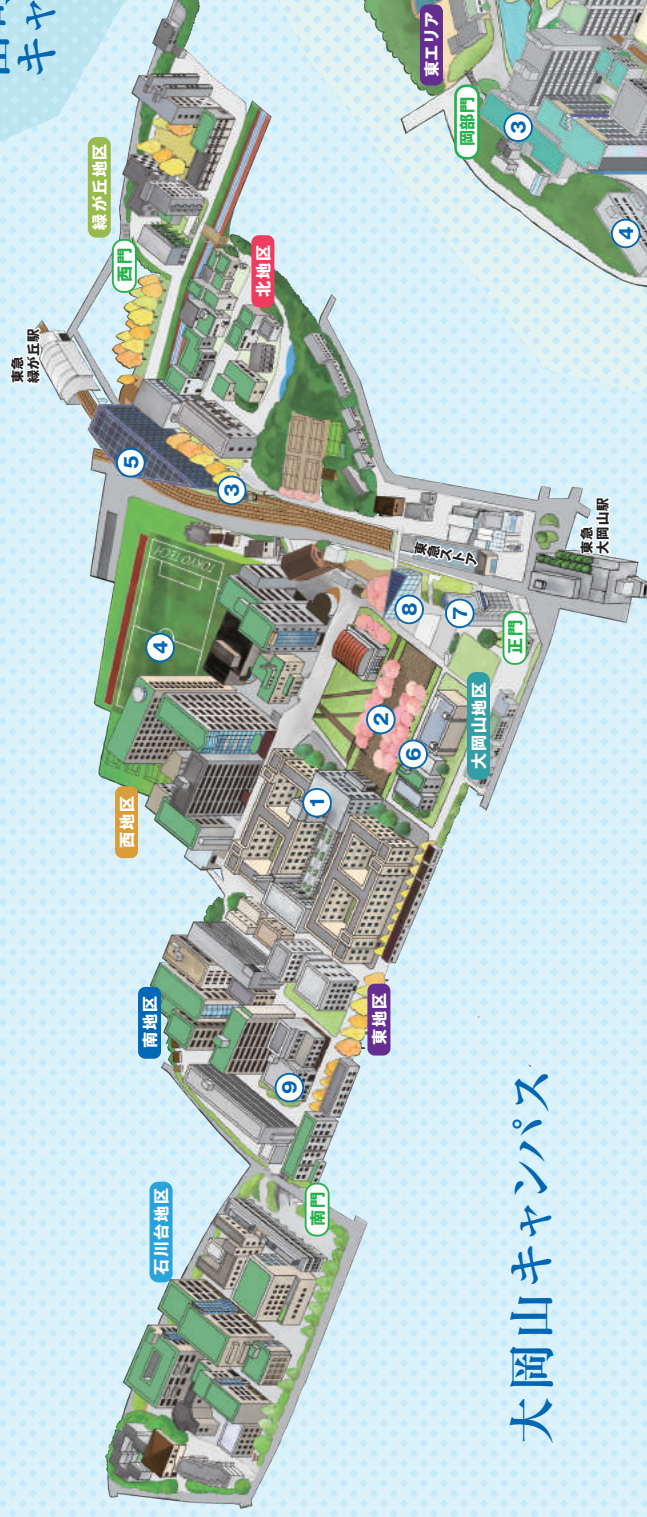
最先端の教育研究を育む、緑豊かなキャンパス

キャンパス案内

田町キャンパス



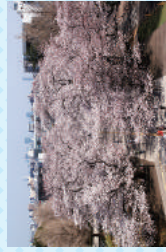
- ① 附属科学技術高等学校
理・工学の基礎を学ぶ附属高校は、スーパースайエンスハイスクール指定校です。
- ② 社企人アカデミー



大岡山キャンパス



- ① 本館
1934年以来、大岡山キャンパスの中心に位置する東工大のシンボルです。



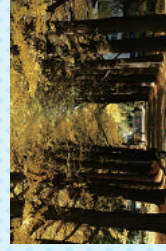
- ② ウッドデッキの桜
本館の手前にあるウッドデッキには、大きな桜の木が並び、春は満開の桜で入学生を迎えます。



- ④ グラウンド
全面人工芝のグラウンドで、学生たちが部活動やサークルに励んでいます。



- ⑤ 環境エネルギーイノベーション棟
棟内で消費する電力をほぼ自給自足できるエネルギーシステムをもつ研究棟です。



- ③ 北地区の緑香並木
夏には緑、秋には黄、金色のトンネルが現れます。

- ⑥ 手島精一像
- ⑦ 博物館
- ⑧ 附属図書館
- ⑨ ものつくり教育支援センター



- ① すずかけホール
国際会議も行われるこのホールには、食堂やカフェもあり、大学のオアシスの存在となっています。



- ② 加藤山
その名の通りキャンパス内にある小高い山。四季折々の自然を楽しむ遊歩道を備えています。

すずかけ台キャンパス



- ③ 附属図書館すずかけ台分館
- ④ 博物館すずかけ台分館
- ⑤ ベリハブス・オーブンギャラリー

平成 28 年 3 月発行
発行者：東京工業大学学務部

